

第6回 船橋市景観審議会 議 事 録

日時 平成27年7月17日（金）

午後2時00分～午後3時30分

場所 船橋市役所10階中会議室

第6回 船橋市景観審議会 出席者名簿

第1号委員（学識経験者）

宮脇 勝 : 千葉大学大学院工学研究科 准教授

第2号委員（関係行政機関）

吉田 究 : 千葉県県土整備部都市整備局公園緑地課景観づくり推進班長

第3号委員（関係団体の代表者）

岡田 博美 : (社)千葉県建築士会 副会長

小室 正己 : 千葉県屋外広告美術協同組合 副理事長

田中 久子 : 船橋商工会議所

沖村 文靖 : 東京電力(株) 京葉支社 支社長

第4号委員（市民）

佐々貴 節子 : 市民公募委員

中谷 弘美 : 市民公募委員

（欠席）

第1号委員（学識経験者）

柳井 重人 : 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授

第4号委員（市民）

山口 直樹 : 市民公募委員

事務局

舟久保建設局長

中村都市計画部長

篠崎都市計画課長

杉原都市計画課長補佐（※司会）

入江主査

大塚技師

磯野主事

第6回 船橋市景観審議会 議事録

日時 平成27年7月17日（金） 午後2時～午後3時30分

場所 船橋市役所10階中会議室

【1. 開会】

事務局より開会の挨拶

（会長）

台風で風が強い中お集まりいただきありがとうございます。久しぶりの審議会ですけれども、今日は第6回ということでお手元の次第に従ってですね、2件の報告事項を順次進めたいと思います。本審議会は議事録を公開することになっておりまして、事務局が作成した議事録の内容を確認していただく署名委員を委員の中から2名選出しますが、委員会名簿の順序に従って前回からの続きで、今回はD委員とE委員となっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは次第の報告1の船橋市公共サインガイドラインについて事務局より説明をお願いいたします。

【2. 議事 — 1. 船橋市公共サインガイドラインについて（報告）】

（事務局）

事務局より説明

（会長）

それでは、皆さんにご意見を頂ければと思います。今日このガイドラインについて全体を通してですね、前回から皆さんに意見を頂いているのと市民の意見を踏まえたうえで、また、この色等もでてきておりますのでご審議いただければと思います。

いかがでしょうか。どこからでも構いませんが、気づいたことがあればどうぞ。

（E委員）

一点よろしいですか。ちょっと教えていただきたいところがあるのですが、この公共サインガイドラインのサインの所有者と設置者と管理者というのはそれぞれどういう人になるのでしょうか。

（事務局）

ガイドラインの５３ページをご覧ください。こちらの方で１番、公共サインの設置主体といたしまして、「案内サイン、誘導サイン、名称サインは施設管理者が設置管理することを基本とする。」としております。ですので誘導案内が必要な、例えば公民館だとか社会福祉施設だとか、そういったところが駅から施設まで誘導案内が必要な場合に公共サインを設置して管理することになります。

(Ｅ委員)

所有者はその公共施設の管理者がなるのですか。

(事務局)

そうです。

(Ｂ委員)

この公共サインガイドラインの冊子はどこに配布されたり、周知されたりするのでしょうか。

(事務局)

公共サインガイドラインはあくまで船橋市が管理する公共施設が駅から施設まで案内するために必要な起点サイン、拠点サイン、誘導サインを設置するために使うものです。ですので配布先は市の各課になります。ただこれは市民の方にも当然見られるようにしたいと考えておりますので、このガイドライン策定後には船橋市のＨＰにてこちらの方を公表する予定としております。

(Ｂ委員)

すると例えば、街の中には国の施設の案内があるかどうかよく注意してないのですが、公共となりますと国のものですか県のものですか、そういうものがあると思うんですけど、そちらのサインについてはこのガイドラインは遡及されないということになると思うんですけども、そうすると国は国のもので勝手にサインをつくるのかっていうことになりますので、できれば船橋市内に設置する際についてはこれをチェックしてほしいというようなことは言えないものなのでしょうか。

(会長)

重要な質問だったと思うんですけど、いかがでしょうか。

(事務局)

この公共サインガイドラインは目的といたしましては一応船橋市の施設に案内が必要な

場合に設置する公共サインについてのガイドラインになります。ただ、それにつきましては5ページに書いてありまして、公共サインの対象施設というものがあります。一応、今申しました市の施設といたしましてこちらの方に書いてありますとおり、市役所とか出張所とか連絡所になります。その下の方になりますけど、「なお、国や千葉県の施設につきましては本ガイドラインの適用を受けませんが、案内サインの地図上では表示いたします。また、千葉県や国が誘導サインを設置する場合は本ガイドラインを参考とすることができ。」としておりますので、こちらの市の公共サインガイドラインを参考にして公共サインをつけていただくことについては全く支障はございません。

(会長)

例えば国の公共施設でこういう看板が出そうな、具体的に市内どんなものがありますか。

(事務局)

国の施設で一般の方が多く来るっていうのはあまりないと思うのですが、例えば船橋の法務局とかそういったものが考えられます。

(会長)

やっぱり、そういったところが協力してもらえると望ましいですね。

ですので庁内配布とともに関係しそうな公共施設に直接配布されれば。義務ではないけれども市内こういうものがあるっていうのをあらかじめ周知されていれば。

(事務局)

そういった周知も考えております。前回の審議会で県の方はどうなるかという話がありまして、確か前回葛南土木事務所の方にも周知すると、そういったような回答をいたしております。

(会長)

B委員よろしかったでしょうか。

(B委員)

これに沿っていただければと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(会長)

その他いかがでしょうか。

(G委員)

前回の意見にも書かせていただいたのでダブるかと思いますし、このガイドラインと直接的にはちょっとずれるとは思いますが、せっかくできるこのガイドラインに基づいたサインに何年経ったら変わるのかっていう、これ市民感覚として当然知りたくなるんですよね。28年度に駅前を整備するというような回答していただいたというか説明加えていただいたんですけども、いつになったら全部終わるのかなっていうのは単純な疑問というか、質問になるんですけども、少なくともその都市計画課で管理されているものくらいはいつまでに切り替え終了するっていう目安っていうのはわからないものなんでしょうか。できれば我々の感覚からすれば、施設管理者が都市計画課か他の課か全然あまり気にしていませんので、公共施設は公共施設の見方をしておりますのでね、船橋市で管理されている公共施設については、例えばこの辺を目安に変わるんだよとか、そんなのも分かったと非常にこういいなというふうに単純に思うんですけどもね。ガイドラインの中身そのものとはちょっとずれてるかもしれないですけど。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。各種公共サインにつきましては、本来誘導対象となる施設管理者が設置することを基本としております。ガイドラインの53ページにありますけど、「必要な場所に案内サイン等が設置されていない場合は都市計画課が設置することができる。」としております。これにつきましては例えば駅周辺に公共施設がいっぱいある場合、起点サインに複数の公共施設が含まれることになりまして、どこの施設が案内誘導を行うか、そういったのがまとまらない可能性が大きくなります。このように施設数が多くて施設管理者が決まらない可能性が多いところ、また主要駅でこういった公共サインの整備が急がれると思われるところにつきましては都市計画課で設置していきたいというふうに考えております。そこで公共サインの充実を図るために、船橋、西船橋、北習志野駅の拠点駅を中心として整備を検討しております。先ほども説明いたしましたが平成28年度に船橋駅周辺と西船橋駅北口周辺、平成29年度には北習志野駅周辺と西船橋駅南口周辺の整備を検討しております。このほかにつきましては、いまのところこちらの考えといたしましては、あくまでも施設管理者が今あるものを老朽化してやり替えるだとか、あるいは必要に応じて設置するよという考え方を持っておりますので、30年度以降いつまでに整備するかということにつきましては今後の課題と考えております。

(会長)

G委員、よろしかったでしょうか。

(G委員)

いいというよりは、しょうがないということですかね。当然こうやってよくするよっていうのではね、何年間で全部やり替えるよっていうのは単純に知りたいなっていうだけで。

(事務局)

一応28年29年で、駅前についてはですね、予算要求をさせていただきまして、今のところ予算はつくのかなっていう思いはいるんですけど、予算が付けばですね、都市計画課の方で整備させていただければと思います。

(G委員)

しつこいようですし、今の段階では計画化するのは無理だろうと想像つきますが、管理されているここでいう起点サイン、拠点サイン、全部市で合計、この種類ごとに何個かいくつあるのかちょっと私ももちろん想像もつきませんが、それがどの程度のスピードで老朽化されていって、ややそれを意図的に早めることによってこれくらいで終わるという、いわゆるスケジュール的なものはなんとなく知りたいなという、こういう意味合いでございます。

(事務局)

ありがとうございます。スケジュールにつきましては今申し上げた通りございませんが、ガイドラインの策定当初は既存の公共サインが老朽化したとか、あるいは公共施設が必要に応じて設置するという考えでした。ただやはり他でもこういった公共サインガイドラインを策定している都市というのが全国にいくつかあります。やはりそういったガイドラインを策定しただけではなかなか新規の設置が進まないだとかそういったようなことが調べた結果分かりまして、主要駅である船橋だとか西船橋だとか北習志野だとか、そういったものは都市計画課で積極的に整備していこうと、一応こういった、本来設置担当課ではないんですがやはり公共サインをつけることによって市民の生活の利便性の確保だとかあるいは街中の回遊性のとか、そういったものができるように都市計画課としても積極的に公共サインを普及していきたいと、そういうことで28年29年に設置していこうということで考えました。

(G委員)

結構でございます。

(会長)

その他にいかがでしょう。

(A委員)

すみません、Aと申します。ガイドラインの32ページで、案内サインの表面加工を追加されたということで、今報告があったのですが、このはり紙だとか落書きの防止加工というのは具体的にはどのような方法で行われるのでしょうか。

(事務局)

これはメーカーのカタログに載っておりますけど、コーティング加工をすることによって落書き防止だとかはり紙防止だとか一応できるということになっております。

はり紙がついてもそれがはがしやすいだとか後は、落書きが書かれてもそれを消しやすいとか、そういったコーティング加工になります。

(会長)

そのコーティングでちょっと確認したいんですけど、あまりこうテカテカにツヤツヤに塗りすぎるとですね、残念な質感になりますので、気を付けながらコーティング加工を考えていただければと思いますけど。あまりピカピカにならないように。

(事務局)

そちらにつきましては発注時にメーカーの方と調整して参ります。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(B委員)

地図の色の表記が地図の使用色として載っておりますけれども、グレーっぽい色がたくさんありまして、これは別に区別がつかなくてもいいというかたちでこのような同じような色になさったのか、それともう一点なんですけど、色のことなんですがこの後ろの背景色なんですけれども、この一番大きい、これも全部青でいくということなんでしょうか。ちょっと盤面が大きいと、濃い色の大きいのはすごくインパクトがあるような気がしますけども、そこら辺のご配慮は検討されたのでしょうか。

(会長)

そこにモデルがあるので、事務局の方で考えを説明してください。

(事務局)

まず一点目のガイドラインの25ページにある案内地図、広域図の共通事項にあります地図表示の使用色でグレー系が多いというご意見ですね。まずこちらにつきましては、基

準がございまして、下の方に出版財団法人道路保全技術センターによる「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」より作成ということで、国の方で出されている、こういった基準がございまして、それに則った色使いとなっております。灰色が同じような色ということなんですけど、サンプルを作って、場所が船橋のサンプルが作れないものですから、過去に東京の原宿あたりで作ったものをお借りしております。

これを見ていただいてもそんなに灰色がきつくなるとか、あるいは見にくいだとか、そういったような感じはしないと思いますので、あくまでも国の基準に従ってやっていく中では、特に施設であればグレー系が多いということになっても、特に見やすさの点ではそんなに問題ないと思います。

(会長)

その中身の色は大丈夫ですかね。緑色が入るときれいですかね。

(事務局)

続きまして2点目の色につきましてのご意見ですが、裏面が濃紺という濃い色だとどうかというご意見でございました。今回公共サインに使用する色につきましては、例えば、市の方で広報誌だとか出版物だとかでよく濃紺が使われていること、また見やすさだとか分かりやすさだとか飽きが来ない色として、一応濃紺という色を採用しています。また、公共サインを濃紺に統一することにより市民の方が駅から施設まで歩くに従いまして、起点サインを見て、拠点サインを見て、誘導サインを見ると、そういった流れになりますと、濃紺を見れば次にこの公共サインの盤面があるんだとそういったようなのが分かる、この色ならなになにと分かったと、そういったような理念もございまして、こういった濃紺の色の採用を考えております。

(会長)

展示された模型というか紙ですね、見たの私も初めてですけども、想像以上に大きいということですね。この紺色については私も随分心配しておりまして、事務局に対しては十分注意していただきたいということで何度か申しているのですけれども、なかなか事務局の方々の感覚としてはこれが適切という判断をされているようですが、例えばガイドラインで確認していただきたいのは、この色については17ページの右下にですね、マンセル値5PB2/6と書かれておりまして、これは以前はもっとさらに濃い青でして、この一番最後の6というのはアクセントカラーの色の船橋市の基準のギリギリのラインですので、これは本当に基準値ギリギリなので、以前はですね、さらに上を行っていたので、この基準値内に収めたっていうところな状態だとは思いますが、それにしてもですね、この盤面が右の模型のようにですね、街中に置かれたときに大丈夫かどうかについては、色の専門をしている側から言うと危ないというギリギリなところだと思います。何度か申してい

るんですけれども事務局としてはこれでいきたいと言っていたので、紺の裏面は減らせないかということで出してきたのが白の案なのですが、白も見ますとかなり明るい色になっちゃってるんですね。これまた目立ちすぎるので、グレーをという、他に合う色でご紹介したんですけれども、そうすると配布資料追加資料のような薄いグレー、これ N の何番ですかね、想定されてるのは。これかなりちょっと薄いグレーなんですけれども、もうちょっと濃い色も考えられるのですが、無難な色を私としてはお勧めしたいところなんですけれども、皆さん感覚がいろいろだそうで、特に船橋市内色が氾濫しておりますので、色に関しては若干、他の街に比べると少し感覚が派手目になっているのかなという気はしますが、委員の皆さんの意見を聞きながら進めたいということで今回ご報告をして、皆さんの意見をお聞きしたいと思っております。

(事務局)

今画面に出している色が、電球のこともありますし、背景の色のこともあって、たぶん本当の色としてすごく分かりづらいので、もうちょっと近い色として実際会長から懸念を示されたので、白と紺を実際その野外で見たらどんな感じに見えるのかというのを写真撮ったのを紹介しているので中の色としては分かりづらいと思いますので、今少しお時間をいただいてコンピューターの画面でまだ見ていただいた方が分かりやすいので。

(会長)

パソコンの色とも違うので、実際ですね、外の太陽光で見ると室内で見るともっと明るくなりますので当然のごとくですね、単色で見ているよりも壁や板面で大きくなるとさらに明るくなる傾向にあります。それからちょっとよく聞いていただきたいんですが、紺の色はですね、日焼けしてきますとさらに薄くなってですね、色の明度が上がってくる色になります。

もう一度繰り返しますけれども、太陽光で見ますとこれはさらに明るい色になります。それから先ほども申したとおり、年月が経つとこの色はあせていきますのでさらに明度は上がるという傾向にあります。ですのでアクセントカラーのぎりぎりの色であるということの意味もよく理解していただきたいところではあるのですが。もしもですね、これを全面に使うのであれば、今の明度、彩度、これをさらに一段ちょっと落としていただくようなことの方が無難なんではないかなという風にはお勧めはしますけれども。

それか先ほどの白のバージョンでもやっぱりちょっと白めがすごく強調されすぎてますよね。ですからこの白い盤面が街中に出てくるのもどうかなということになろうかと思ったので、落とすのであれば明度を下げてグレー系にいくということになろうかと思うのですが。これおそらく色の専門家で議論した方が早いし皆さんに聞いてもですね、迷うところなので、わからないということになってくるとは思いますけれども。まあ、少しでも無難な方にとはお勧めしますけど。

(G委員)

一番大きなサインというのは、どちらかというと後ろが見えないというような場所に設置されるケースが多いということはないのでしょうか。裏側が。そういう可能性はないですか。

(事務局)

そうですね。起点サインは駅前に設置するので、何かしらの裏面があるところの前とかに設置した方が通行の邪魔になりませんので、そういったところを設定してやることが多いと思います。

(G委員)

私も個人的な好みで言えば、こんな大きなものがこの濃い色というのはこんな感じですけども。ただ、おそらく例えば船橋の駅前ですと今のような場所にお付けになるのであれば、背中ほとんど見えないですよ。

(事務局)

船橋で考えておりますのは南口ですとエスカレーターの前にございますよね、そこをやり替える、あと、北口ですと、エスカレーターの左側にロータリーの地図とバスの公共ガイドがあるんですけど、そこらへんになるとと思いますので裏が他から見えるっていうことは、ちょっと少ないのかなと思います。

(G委員)

消極的賛成意見であまり見えないからいいのかなという感じもいたしますけれども。見えるのであれば先生がおっしゃるような、個人的にはこういうのは好きですけど、こういうグレー系とかが。好きというかなんと言うかですね、あまりにも刺激が強すぎないという意味合いですね、でも見えないのかなっていう気もしないでもないですけどね。

(会長)

交差点にも置くんですよ。

(G委員)

今度は一回り小さいので。

(D委員)

これほど大きいのはないですよ。

(G委員)

ですよね、このプランでいきますと。

(事務局)

ガイドラインの18ページにございますが、盤面の裏側90cmのものになります。こちら1.5mの幅がありますので、その3/5の大きさになります。

(G委員)

この紺が目にはバーンと入るとやっぱり強烈すぎますよね。

(B委員)

拠点サインくらいの大きさだったら構わないのかなって思うんですけど。

(G委員)

ですよね、そんな印象を受けますけど。

(B委員)

この1.5mのはかなりインパクトありますよね。

(F委員)

私、車を運転しないからよく分からないんですけど、起点サインの大きさっていうのは例えば交差点なんかに置いた場合、運転する人たちからの視線は邪魔にはならないのですか。

(会長)

確認ですけど、起点サインは駅前ロータリーのところとこの後概念図でいくと交差点は全くないですよね。

(F委員)

交差点はないんですね。

(会長)

拠点サインですか。そうするとこの小さいのですかね。

(B委員)

交差点みたいなところにああいうのはないですか。

(会長)

交差点のモデルはないですね。ここには。中くらいのものでは。

(事務局)

交差点につけるものにつきましては18ページにありますけど、拠点サイン、こちらの方を交差点につけます。車両からの視認性を妨げないのかとか、そういったようなご意見がありました。こちらの12ページの⑤の交差点の設置場所というところで示しておりますが、こちらの3行目のなお書きのところ、「なお、設置者の留意点として、歩行者から見て良好な視認性を確保でき、かつ通行の支障とならない場所を選定する。」通行の支障とならない場所なんですけど、当然車の視認性を阻害しないようなそういったような場所として設置することはもちろん考えております。

今話を表したのが12ページの下図になりますけど、交差点への設置位置の参考例ということで案内サインは横断歩道より外側に置く、逆に横断歩道の内側に置いたらそれこそ左折車の視認性の阻害になりますので、そういったことがないように横断歩道より離れた側に設置するようにしております。

(F委員)

ありがとうございます。

(事務局)

繰り返しになりますけれども、この起点サイン、拠点サインの背景の色、後ろ側の色の話につきましては皆さんにスライドを印刷した資料をお配りされているかと思いますけれども、その中で素案からの検討点と書いたスライドで示しているものです。今実際画面に映っているのがこれが実際には交差点図なので起点サインではなく、拠点サインがつくところになりますけれども、サンプルとして作っているのが起点サインだったので、起点サインを置いているわけです。近距離で見ているものもありますけど、もう一つ壁のようになるとであれば特に視線としては車側、あるいは対向側から見たときにどんな見え方をするのかということで2枚の写真をつけておまして、右下がそのようになっているわけですね。そういたしますとこの青っぽい方でも、それほどそこがいわゆる黒板のようにそこだけ色抜けているというわけでもないのかなというのが今事務局の方としてはちょっとそういう風に思っていて、これを出している状況でございまして、各委員の皆様におかれましては、素案からの検討点と書いてあるそれぞれの写真2枚ありますが、それをちょっと見ていただいた上で、どんなものかなということを少しお考えいただけたらと思います。ちなみにすごく荒っぽい言い方をすると、これは起点サインで、拠点サインは今右側に提

示されているものの中で、一番上の勤労市民センターと書いてある盤面を一個取り除いてもうちょっと下くらいの高さ、横幅についてはだいたい地図面くらいの横幅になると、概ね拠点サインの大きさになるかなと思います。

(会長)

ということで、起点の部分は裏面は見えないのでということでいいですかね。まあ、そんなに深刻にならないという考え方もありますね。

あと、皆さんが同意していただければ、そのようになればいいと思っております。色の組み合わせ等ですね、ぜひ積極的にこれがいいんじゃないかということがありましたら、発言していただくと参考になるのではないかと思います。

(F委員)

私はこの色がいいと思います。お店の看板とか赤とか黄色とかがいろいろ街中に氾濫しているので、街の中には看板が赤とか黄色が多いので、やっぱりこの色が一番いいと思います。

(会長)

わかりました。市民委員のGさんはいかがですかね。ちょっと個人的な意見で構わないので。

(G委員)

デメリットのところであまりにも大きなものがドカンとあるというのはさっき申し上げたとおり、あまり見える場所にはつかないんじゃないかなと、結果的に。それと事務局でご説明いただきました、この色を見ると次の看板があるのかなというのは確かに意味合いとしてあるんじゃないかというふうに思いましたので、やや一般的に濃い色だとは思いますが、この原案でいいのかなというように思いました。

(会長)

以上のような意見が出ておりますけど、原案でよろしいですかというようなことなのですが。いいでしょうか。

B委員、どうぞ。忌憚なく。

(B委員)

今更あれですが、小さめの拠点サインですか、そのくらいの盤面でしたら、濃紺に白文字でも構わないのかなと、大きさに。要は写真の大きさが拠点サインの大きさってことですよね。でするのでそのくらいだったら納得できるようなところかなとは思います。要は

大きなところの起点サインの裏面がドーンと見えてしまうのがちょっとインパクトが。

(事務局)

申し訳ございません。写真の方が起点です。

(B 委員)

あれが起点サインですか。

(会長)

あれが駅前に。

(事務局)

ちょっとサンプルの数を絞っているのです。

(会長)

置く場所のシチュエーションが違うんです。

(B 委員)

わかりました。

(会長)

もうちょっと小さいものがああいうところに付く。

(B 委員)

あれより小さいのが出てくる。交差点に出てくるのは起点ですか。

(事務局)

外に置くと案外小さいです。

(B 委員)

わかりました。ならば、少し安心しました。

色のことじゃないんですけども、この i サインの i っていうのは、お知らせの i ?

(事務局)

インフォメーションの i です。

(B委員)

インフォメーションのi。分かりました。

それから誤字脱字の部分で申し訳ないんですが、14ページの地図の範囲があつて、一番下が、拠点サインは概ね300m間隔の設置となるため500mの盤面に500m四方の表示範囲とするって間違いですよ。

(事務局)

たいへん失礼いたしました。1つ目の500mが500mm四方の盤面です。たいへん申し訳ございません。ありがとうございます。

(会長)

重要な指摘ですね。では、皆様のご意見としては原案通りでということの方が大勢を占めましたので、まあ、私としては心配するところはあるんですが、希望としてはですね、原案のように裏面も紺でいくということでその場合にはですね、マンセル値5PB2/6といった色を実際つくるときですね、ちゃんと色確認していただいて、思ったよりあれっということにならないようにですね、一応指示としてはこの数値基準を使いながらも本当に大丈夫かどうかは確かめながらやっていただいて、無難なことを言うと、実際には下の彩度でも全然問題なく青とは認識されますので、そのように施工されると、実際日焼けしてきた場合もですね、色が変わってきた場合でも耐えられるものを、6を超えないよう5PB2/6を超えないという範囲で長期間収まっているように実際設置していただければと、会長からの希望ということで、原案としてはこのまま進めていただくということでまとめたと思います、よろしいでしょうか。

はい、ではそのようにお願いします。

続きましては、報告事項の2、景観重要建造物についての報告をお願いします。

【2. 議事 ー 2. 景観重要建造物について（報告）】

(事務局)

事務局より説明

(会長)

どうもありがとうございます。景観重要建造物2件追加していきたいということで積極的に進められればと思いますが、何かご意見、これに関してありますか。

(D委員)

大神宮の灯明台については私も初めから入らない方がおかしかなのと思っていたのですが、

県の文化財みたいなのになっているので該当しないのかと思っていたのですが。東葉高校の門はやはり県の何かになっていますよね、違うのですか、あれ。

(事務局)

国指定の登録有形文化財に指定されております。

(D委員)

玉川さんもそうですか。

(事務局)

同じです。

(D委員)

ですと、こういうのには入らない。持ち主の意思なんでしょうけど、だめなんですね。

(事務局)

国の登録有形文化財に指定されていても景観法の景観重要建造物に指定することは可能です。ただ、文化財保護法の国宝だとか重要文化財だとか、そういったものになった場合については、この景観重要建造物の対象とはならないです。

(D委員)

あとは、持ち主の方のご意思ということですね。

(事務局)

そうですね。

(D委員)

あと、廣瀬直船堂さんは結構老朽化していますが、その補修というのはどちらが持つのでしょうか。

(事務局)

そちらは所有者である廣瀬直船堂さんの方でやっていただきます。

(D委員)

もう了承済みですか。

(事務局)

市の方で助成等については困難ということで説明した中で了承をいただいております。

(D委員)

はい、わかりました。灯明台の方は結構大神宮さんが一所懸命力を入れて畳を取り換えたりしてます。成人式の日には中にも入れますのでとてもいいことだと思います。ありがとうございます。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(B委員)

廣瀬直船堂さんの真向かいに森田さんがありますよね。できればツインで指定していくのが一番いいのかなとは思いますが、ご本人の、所有者の意思が第一なので無理は言えないですけれども。あと、直船堂さんの調査って言いますか、現況の調査っていうのはこの指定にあたってなされるのでしょうか。奥の方にも結構古い蔵ですとか、朽ちかけておりますが、結構大正かなんかの建物だとお聞きしたことがあるので、景観という面では裏のもので見えませんが、併せてそういった調査というものはどうなっているのでしょうか。

(会長)

事務局わかりますか。

(事務局)

調査については過去にしております。ただ、景観重要建造物の対象の要件というのが、どちらかというと道路とか公衆の場所から見える面が景観上重要かどうかの話でございますので、奥につきましては特にその対象としておりませんので、他の文化財等そういったものがあれば、そういったものの対応も可能かと思います。

(B委員)

市の指定文化財は。

(事務局)

県と同じように市の指定の登録文化財のものがございます。

(B委員)

こちらの方も交えてはそっちの方じゃないとまずいと。

(事務局)

そういったものも考えられるということです。

(会長)

その場合は奥の方には容易に入れないということだと思うのですが、これは登録文化財にはなっていない、国の。

(事務局)

こちらの方はなってないです。

(会長)

国の文化財になると調査の補助が出るので、そちらも併せて市役所で動いてくれるのか、それは教育委員会ですね、共同してもらえるとその辺助成を同じレベルのものの制度ですので合せてもらえると、課題の心配なところをケアできるんじゃないかなと思いますけどね。ぜひそれも検討してみただけると。

(事務局)

はい、わかりました。それにつきましては担当課の方と調整させていただきます。

(会長)

いずれにせよ、いいことだと思います。どんどん進めていただいて、所有者の了解が得られれば一番いいということですのでがんばってください。

他に意見はありますか。もしもなければこれで終了したいと思いますけれども。

事務局あと何かありましたか。

(事務局)

ありがとうございます。事務局としては特にございません。

【3. 閉会】

(会長)

それでは少し早めですけれども、これで第6回船橋市景観審議会を閉会いたします。皆さんお疲れでした。